

ジェネリック医薬品を積極的に利用して

お薬代のご自分の負担も健保の負担も節約しましょう!!



ジェネリック医薬品ってどんな薬?

医師が処方する薬には、新薬 (先発医薬品) とジェネリック医薬品 (後発医薬品) の2種類があります。新薬の特許期間が切れた後に、新薬と同じ有効成分を使用し、効き目・安全性が新薬と同等であることを国が厳しく審査し、承認された医薬品です。最近では、先発医薬品と全く同じ医薬品をジェネリック医薬品として発売する「オーソライズドジェネリック (AG)」もあります。



ジェネリック医薬品ってどのくらい安い?

ジェネリック医薬品は新薬に比べ3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。これは新薬に比べ研究開発費を大幅に抑えられたためです。



ジェネリック医薬品を使用するメリットは?

お薬代が安くなり、長期間の服用が必要な方ほど節約効果は増大です。また、年々増加を続ける国の医療費節減に役立ち、それに伴い健康保険料の上昇を抑えることができます。



ジェネリック医薬品の普及率は?

日本ではまだ40% (2013年度) しか普及していませんが、世界では一般的なお薬。WHO (世界保健機構) も使用推進を提唱しています。アメリカ、イギリス、ドイツ、などの医療先進国では、普及率が既に60%を超えています。中には80%がジェネリック医薬品という国もあります。日本でも少子高齢化で増え続けている医療費を抑えるために、2018年3月末までに普及率60%以上にする取り組みが進められています。



ジェネリック医薬品を試してみようかな?

薬局で「ジェネリックにできますか?」とご相談ください。添付の『ジェネリックを希望します』シールを保険証・診察券・お薬手帳に貼っておけば言い忘れがなく切り替えがスムーズです。ぜひご活用ください!!

(貼り方の例)

